



## せきぐち歯科 NEW ハロアル新聞

### 受付だより

みなさん、こんにちは。春の兆しに桜の便りももうそこまで来ていますね。春の訪れを待ち遠しく思うのは冬の寒さがあつてのこと、地表にも木々の枝にも新緑の芽吹きが次々に現れ大地を覆っていく春の始まりはワクワク感に満たされて、何か良い事がありそうな予感も嬉しいものです。

今年も無事にハロアルソン・フィリピン医療ボランティア活動の現地での4日間の活動を終えることができました。私たちが長年取り組んできたフィリピンのスラムで行う無償の歯科治療と支援物資の配布活動は、みなさんのご協力なしには成り立たせることができません。募金や、タオル・ハブラシ・石けんなどの物資のご支援と、何よりもこの活動にご理解を頂き温かい心を寄せて頂き、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

例年通り活動の内容を壁新聞にてご報告いたします。そして来年の準備も始まります。どうか今後とも温かなご支援ご協力をお願い致します。

虫歯・歯周病に代表されるお口のトラブルは、予防をすることで未然に防ぐ且つ重症化を抑えることができます。それはハミガキ。当院おススメの柔らかいハブラシ「プロスペックコンパクトスリム」で毎日のハミガキを行いましょ。更に不調を感じることも無くとも、定期的な歯科検診を併せて行いお口の健康を守りましょ。

(歯科コンシェルジュ 菊地正子)



## 今月はなんと... < 6件 > のご支援です!!

- 生姜大好き人間 No. 192
- 和号志 No. 193
- 7957&8767 No. 194
- みとん No. 195
- えいちゃん大好き! No. 196
- トニーズ224 No. 197

## 北島&人見の現地活動報告!



### 歯科衛生士 北島紗希

今年で8回目の参加となりました。抜歯ブースで涙を流しながら頑張っている子、シャワーブースで笑顔で身体を洗ってもらっている子、クリーニングブースで真剣に歯磨き指導を受ける子...今年には様々なブースをお手伝いさせて頂き、今まで以上に会場全体を見ることが出来ました。毎年たくさんの方の経験させて頂いています。それも患者さんを始め、たくさんの方の協力があってこそです。今年もご支援本当にありがとうございました!

今年も消毒ブースを担当しました。消毒ブースは治療器具の準備や血液のついた器具の消毒を行い、参加する全ての方々の安全をこのブースで担っています。

4日間という限られた日数での活動でしたが、今年も笑顔を忘れずに楽しい現地活動ができました!

皆さんから頂いた物資を手を持ち、喜ぶスラムの子供達の笑顔が今でも脳裏に焼き付いています!

物資や募金をしていただいた皆さん、今年も貴重な経験をさせていただきました!

本当にありがとうございました☆

### 歯科助手 人見理紗



新聞周りの口で囲まれた空欄には、フィリピンボランティア活動における協賛者名が記名されます。私たちのこの活動は、みなさんの善意(募金)のみで全ての運営をまかなっているのが現状です。物資輸送費や現地活動費は多額の資金を必要としています。そこで、

会社名やサークル、個人名、インシャルなど、どんな名称でもかまいません。3000円のご協賛をして下さる方を募集しています。尚、協賛金は全額ボランティア活動に寄付されます。詳しくは、スタッフまでお尋ね下さい。皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

# 2019年 ハローアルソン・フィリピン医療ボランティア 現地活動 大・大・大 増刊号!!!

今年でハローアルソン・フィリピン医療ボランティア14回目の活動となりました。  
15年前に出会ったアルソン君は、貧困のためハブラシ一本が買えず、当時10歳という年齢で大きな虫歯のため前歯の永久歯を4本抜かなければなりませんでした。

貧困のため治療を受けることの出来ないスラムの子供達は、痛みが出れば抜歯をするしか痛みを取る方法はありません。  
もう二度とアルソン君のような子供達を増やさないとする思いから「ハローアルソン」の活動がスタートしました。

歯科医師	24名	看護師	3名
耳鼻科医師	1名	高等学校教員	2名
歯科技工士	3名	一般参加	16名
歯科衛生士	11名	中・高校生	68名
歯科助手	4名		

今年の参加人数は、総勢132名!!!!

## ● 2019年 活動報告

### 医療奉仕活動

	2月8日	2月9日	計
クリーニング	124	427	551
※保存	50	65	115
抜歯	168	202	118
義歯	5	7	12
耳鼻科	58	86	144
シャワーブース	256	350	606
投薬		1	1
合計人数	661人	1,138人	1,799人

今年も無事活動を  
終わることができました!!  
「サラム、ポ」と笑顔で  
帰っていくスラムの方々。  
私達は、皆様に支えられ、この  
活動ができています。  
今年もたくさんの方を学び、  
考えは4日間となりました。  
ありがとうございました♪

\* 保存: 詰め物で歯を治す治療

約2千人の方々の「ありがとう♡」は、皆様ののおかげです♡

### 物資配付活動

	2月8日	2月11日	計
物資配付	250	600	850
(物資配付内容) ハブラシ10本・石鹸2個・タオル2枚・お米2キ。			

# 2月8日 (活動初日)

# 物資支援活動

## 「TRIZAI STADIUM LEVERIZA PASAY」

## 250人に配付

一人につき 歯ブラシ10本・タオル2枚・固形石鹸2個・お米2キロ

この地域は私たちが毎年宿泊しているマニラ市内のホテルからわずか2〜3分の所に位置しています。このエリアは、人口約1万人で住民たちは主にトライシクル(バイクタクシー)や物売りなどで生計を立てています。一日の平均収入が500ペソ(日本円で約10000円)です。

政府の政策により周囲には無料の公立の小学校や病院が建設され、少しずつ生活は良くなってきています。しかし、マニラの市街地でありながら、未だ歯ブラシやタオルなどの生活物資の支援を求めている人たちが大勢存在し、街中を裸足で駆け回るストリートチルドレンも未だ多く見られます。

ここでは私たちが長年活動をしている現地チーム「マニラ・ソライマン・ロータリークラブ」のメンバーと共に、このエリアの最貧困層約2500世帯にお一人一歯ブラシ10本・タオル2枚・固形石鹸2個・お米2キロを支援しました。

会場は大きなショッピングモールに隣接する駐車場を利用し、中高生を中心に一人ひとり手渡しで物資をお渡ししました。

私たちが到着するのを何時間も前から待つていたので、とても陽気な笑顔で迎え入れてくれました。

その笑顔に始めは緊張気味だった高校生たちも緊張がほぐれ皆さまで協力いただいた物資をしつかりと手渡すことができました。

### ＜長蛇の列＞



今から出発です



高校生・中学生が中心となり物資を配ります



お米・歯ブラシ  
タオル・石けんなどを  
1人1人に手渡します



みんな笑顔



会場の近くには  
ショッピングモールが...

# 2月9日 (活動2日目) 医療奉仕活動初日

## 場所: NORTH BAY EAST AREA

## 患者総数 661名

今回の活動エリアは、マニラ市中心部から車で約40分、マニラ湾に面したナボタスという地域です。

この地域には13800棟に約90000人の人たちが住んでおり、入居費用や家賃などはなく、その代わり建物全体のメンテナンス費用(共益費)として1か月3000ペソ(6000円程度)を支払っています。

また、行政もこの地区の貧困改善のために、漁師は使用する漁船を国から5万ペソ(10万円程度)でローンを組むことができ、網は国が無料で支給しています。そして子供たちにも漁の技術習得のための資金援助や学校を設立し、「教育」と「労働」によって犯罪の芽を摘んでいます。

治療会場は住民たちの憩いの場でもあり避難場所でもあるバスケットコートを利用しました。海沿いの地域であるため台風や大雨の際には周囲がすべり冠水してしまいます。そのため建物は「コンクリートの壁に囲まれ少し高い土地に建設されているのが特徴です。

治療内容はやはり抜歯や義歯の作成依頼がとて多く、生活が改善傾向にあるとはいえ、住民たちのお口の中はボロボロです。特に子供たちの奥歯「第一大臼歯(6歳臼歯)」の抜歯が多く、会場では幼くして多くの子供たちが大切な体の一部を失っています。

この地域では継続的な治療の有無や器材・材料などの問題から、痛みのある歯は抜歯を選択するしかありません。そして慢性的栄養不良のスラムの子供たちの中には立った一本の虫歯の菌が全身に波及し死亡してしまう子供も少なくはありません。そのため貧困地区での「抜歯」は単に痛みをとるというだけでなく、命を救う治療にもなっています。



子ども達と木村先生

たくさん物資を  
ありがとう😊



黒磯南高校1年 野口

持てこたえて頑張りました



カヤモン!! (頑張れ!)



ハジメの指導中



皆様からの愛を  
届けてきました



団長と団長  
抜歯中です!!



# 2月10日 (活動3日目) 医療奉仕活動2日目

## 場所：「UPSKILLS FOUNDATION : BARNGY 105 VITAS TONDO」

### 患者人数.....1138名

医療奉仕活動2日目は「トンド」です。ここは1980年代後半まで「東洋一のスラム」と呼ばれたゴミの収集所「スモーカー・マウンテン」があったエリアです。

このエリアは10年ほど前から医療奉仕活動の拠点ともなっている地域で、毎年場所を変え様々なボランティア(集落)で活動をしています。

今回はボランティア105名です。この集落は約22000人が暮らしており、主に港で荷物を運ぶポーターや建築関係、中には調理用トラックを刺く仕事(1キロ10.ペン(約200円)や、ゴミを拾いながら生活をしている人たちも多々います。

この地域はフィリピン国内でも最貧困層のスラムであり、夜になれば銃犯罪や薬物などの犯罪が多発し、何から逃れるようにスラム居住区内では昼間から妊婦や子供までもがシンナーを常用している者も多くみられます。

このエリアで病気になるのは無料のクリニックに通うことができますが、週1程度しか治療を受けることができず、1日数人程度で薬の種類も少なく、無い場合は自分で購入しなければならぬためほとんどの住民が治療を断念しています。

集落のリーダーに「この地域に今一番必要なものは」と尋ねると彼は「教育と医療」と即答しました。そして「こんなにも大きな規模の歯科ミッションは初めてです。なんて幸運なのだろう。そして沢山の人が治療をしてくれそうです。そのうえ歯ブラシやタオル、石鹸まで貰うことができました。とても感謝しています。」と話してくれました。



検診ブースで治療内容を決めます★

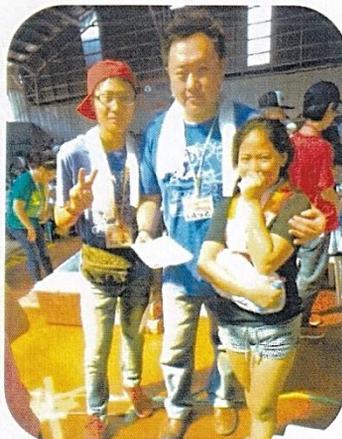
### チーム 栃木



歯科衛生士 池田  
今は地元の歯科医院で元気に頑張っています  
今年も参加してくれまして



全ての器具を消毒  
歯科助手 人見



アシスタントをする北牧

治療を終えた患者さんと  
団長 & 団長Jr. (中学2年)  
栃木から初の中学生が参戦!

会場の様子



# 2月11日 (活動最終日) 物資支援活動

## 場所：Kaingen Kawit . Cavite 600人に配付

一人につき 歯ブラシ10本・タオル2枚・固形石鹸2個・お米2キロ

活動最終日は既に10年以上支援をしている「カビニア市」にある集落に向かいました。

午前9時30分、私たちが会場となるバスケットコートに到着すると既に数百人の住民たちが待っています。ここでは「歯ブラシ10本・タオル2枚・固形石鹸2個・お米2キロ」を約600人に配布いたしました。

住民の皆さんからは口々に「先生、去年も来てくれたじゃない、今年もありがとう。」とほとんどの人たちがハロアを覚えてくれていました。私がこのお米は今日食べるの？と尋ねると「もちろん！」と嬉しそうに答えます。ニコニコ中高生全員で600人お一人お一人に物資を手渡ししていきます。

ふと会場を見ると、ひとりの女性がお米の入った袋を落としてしまい、バスケットコートにそのお米が大量にこぼれてしまいました。彼女はとても悲しい顔をして「ぼれたお米を見つめてみます。私がつまみ袋彼女に渡すと、満面の笑みを浮かべ何度もお礼を言いながら去っていきます。すると、すぐに小さな男の子がやってきてその床にこぼれ埃だらけのお米を素手でかき集め始めました。それも一粒の残らず

私は言いつゆのない気持ちになりました。

会場では高校生たちが一生懸命笑顔で物資を配ってくれています。そして最後の住民が物資を受け取るまで、誰にも気づかれないことなく少年は落ちたお米を拾い終えスラムに帰っていきます。

こぼしてしまつたお米も一粒残さず...



長蛇の列



現地の人々とふれあい自然に笑顔が弾けます



「ほほほ」  
ニヤニヤ

皆様から「協力頂戴」  
深山のハブラシ



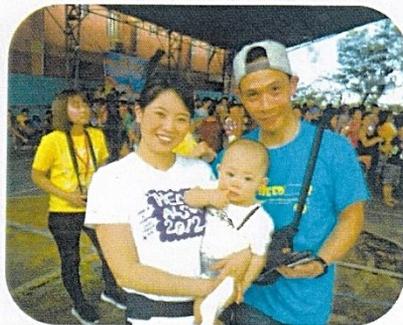
神様のチケット



当院を卒業した歯科衛生工  
澤本葉保  
お子さんと一緒にお手伝いに  
来てくれました。



フリーソンの人々  
笑顔に  
野口



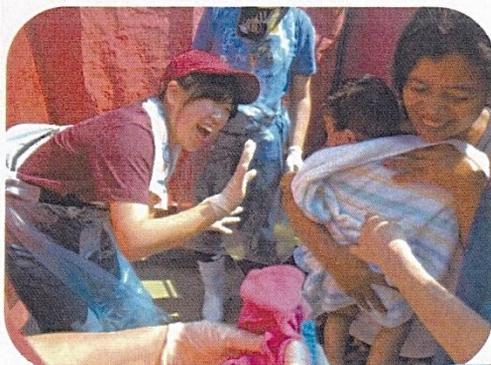
「お米をいただきますか？」

# シャワー・アクティビティ

スラムの子供たちは私  
たち日本人のように毎日き  
れいな水やシャンプーを  
使って体や頭を洗うこと  
ができません。  
そこで地元のメンバ  
ーたちと共同で高校生たち  
を中心にして今年4つのシ  
ャワーブースを作り二日  
間で約600人の子供た  
ちを洗うことができました。  
スラムでは水はとても  
貴重な存在になります。  
上下水道などのインフラ  
整備はほとんどなく、子  
供たちは体が汚れば海  
に飛び込み水浴びをしな  
がら洗うか、スコールの  
時に外に出て屋根伝いに  
流れ落ちる雨水を使うし  
かありません。  
そして石鹸1個が貴重  
なスラムでは毎日を清潔  
に過ごすことなど不可  
能です。  
そこで昨年からの地元  
ボランティアのメンバ  
ーの依頼もありこの活動  
が始まりました。高校生  
たちが順番に子供たちの  
頭や体を洗います。子供  
たちも初めての経験に会  
場は大騒ぎです。



キレイになれー



笑顔



さ、はりしたよー



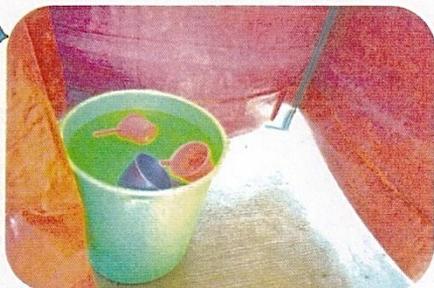
体を洗ってもらえて 嬉しそう♡



シャワーを心待ちにする  
子供たち



シャワーブースの中で

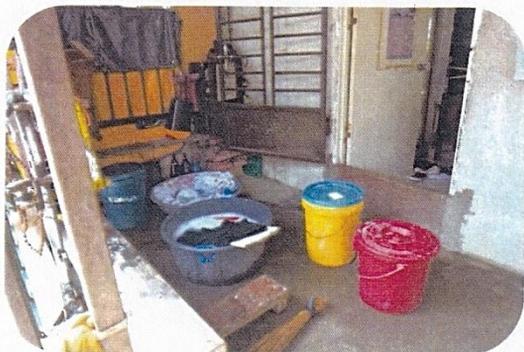


消防車がキレイな水を  
運んで来てくれます

# スラム街で生きる子供たち



ゴミを拾いながら生活をする現状は、いつになっても変わることはないのでしょうか…。  
 「15歳まで生きること。」笑顔で夢を話す子供たち…。ここに写る子供たちの笑顔が一年でも長く続くように…。  
 私達に“今出来ること”とはいったい何なのでしょうか…。



「ゴミが浮かぶ川」

濁った川... 2"すが  
 この汚れた水で  
 洗濯も行います



ハラミを  
 手にするのほ  
 初めかな?  
 興味津々

電線が張りめぐらされた路地

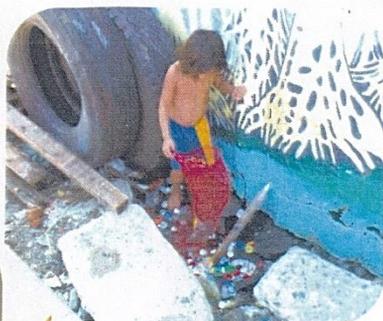


今にも崩れそうな住居



それでも子供達は

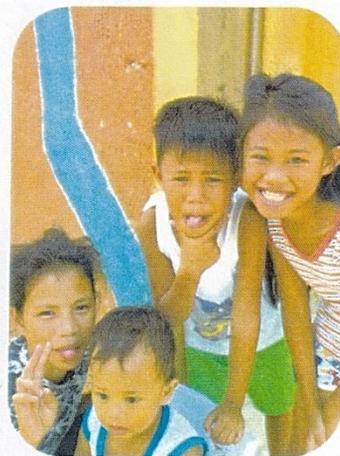
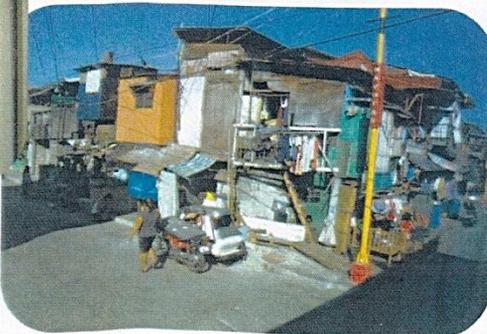
笑顔 😊



ゴミを捨てる子供



ここでひと家族が  
 生活を営みます...





皆さま！ご協力ありがとうございました！  
 私達は皆様のおかげで4日間活動することができました！

今回活動に参加して実際に自分の目でフィリピンの人達の暮らしを見ることで普段いかに自分達が恵まれた生活をしているかそのありがたさを実感しました。

また、フィリピンの人達と表情やジェスチャーでコミュニケーションがとれたときはとても嬉しかったし、フィリピンの子供の素直な笑顔から笑顔で接するって大事なことだと改めて気づかされました。

この活動に参加していなければ出会えていなかったいい仲間にも出会え、学んだこと教わったこともいっぱいあり、本当に参加してよかったなと心から思います。また機会があったら是非参加したいです。

(黒磯南高等学校2年 北牧桃果)



私はハローアルソンの現地活動を終えて学んだこと、得たことがたくさんありました。

特に印象に残ったのが、治療後に「日本語でありがとうはなんていうの？嬉しいは？」などと日本語の質問をされたことです。

他の国の言語を学びたくても学べない環境にいる彼らに対して私は何でも学べる環境にいることがとても幸せに感じました。

今回の活動で日本語教師になる夢を持ちました。いつかボランティアで教えられるようにこれから頑張りたいと思います。

(黒磯南高等学校1年 野口史織)



小さい頃か知っていた活動でしたが、正直はじめはあまり積極的ではありませんでした。しかし、現地に行っているいろいろな事を学び、自分を見直し成長させてもらいました。

スラムの人たちは明らかに自分よりも悪い環境で生活しているのに、自分よりも素直で強くて、明るい人たちがばかりでした。

僕の将来の夢は医者になることです。もっと勉強して素晴らしい医者になり、いつかこの活動の一員としてもう一度恵まれない人たちに笑顔を届けたいです。

(厚崎中学校2年 関口慶慈)



今年も皆様のおかげで、無事にボランティア活動を行うことができました！！  
 2019年の壁新聞をご期待下さい。



# 院長手記

## 「息子と共に」

2月7日から10日までの4日間、フィリピン共和国首都マニラ市近郊のスラムにて、今年も大きな怪我や事故もなく無事現地活動が終了しましたことをご報告いたします。

今年も過去最多となる132名の現地参加者を賜わり、内、高校生64名、中学生4名が全国から参加してくれました。

また、現地での治療人数や物資支援人数も最多となり、延べ2500人を超えるスラムの人たちに皆さんから頂いた「思い」を届けて参りました。



物資のチェック中



サハラの心 (おんがら)

私事ですが今年も今年も中学2年生になる息子が参加をし、県立黒磯南高等学校からは9年前から代々受け継がれてきたボランティアのバトンを途切れさせることなく、2名の生徒が参加してくれました。保護者の方々と並びに学校関係者の方々には深いご理解を頂き心より感謝申し上げます。

また、診療中彼らが出発前の研修に来た際には多くの患者さんから「頑張つてね」と励ましのお声を頂き、貴重な物資、募金をご協力頂き謹んで感謝申し上げます。

私がこの活動に参加したのは15年前まだこの会が発足されてはならず、他の団体に一、歯科医師として参加をしました。そして初めて経験した世界の貧困の現実に心震わせ、帰国後、現会長林春二先生を中心に仲間と共にこの会を立ち上げました。そしてその記念すべき年に長男が誕生しました。私が帰国し那須塩原駅に着くと家内に抱かれ満面の笑みで迎えにきてくれた息子の笑顔を今でも鮮明に覚えています。(今ではうつつすらと髭が生え始めてしまいました。)

私は駆け寄る息子を抱きながら無事帰国した安堵感と共に、たった飛行機で4時間の場所ですつきまで私が治療をしていた子供たちをふと思いつきました。

「お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、おばあちゃん、おじいちゃん...」



「運命」というにはあまりにも過酷で劣悪な現実。今日食べる物にも困窮し、たった歯ブラシ1本さえ買うことができず、日本では治せる歯もすべて痛みを取る最後の

手段「抜歯」しか選択できない子供たち。私は息子を抱きながらいつか彼に世界の「貧困」の現実から人間自らが作り上げた「平等」という名の不条理」を学ばせ、スラムの人たちの「貧しさを共に分け合う心」から物質的に豊かな日本人が忘れかけた「心の豊かさ」を一緒に考えたいと願いました。

### ★ 検診ブース

田長と田長



ハロアル会長 林春ニ 先生

そして今年、皆さんのおかげで一緒に参加することになりましたが、私の息子は他の高校生等に比べまだ自分の将来を真剣に考えたり世界の貧困問題に興味があるわけでもなく、毎日野球に明け暮れ、食べることも学ぶことも「当たり前」を当たり前に感じる普通の中学生です。ボランティアに自ら志願したわけではなく、半ば強引に彼を説得しました。

それはこの活動に参加をする子供たちにも共通するかもしれません。

この活動には今までに400名以上の高校生が参加をしました。そして、その志望動機も様々でした。「自分の将来の糧にしたい」「経験したい、体験したい」「先生や親に勧められた」「先輩が参加をしたのを知って自分も決意した」...

私はそれで良いと思っ  
ています。確かにボラン  
ティアは目の前の苦し  
みや悲しみに寄り添い誠  
心誠意相手に尽くす事  
以外目的はありません。

しかし、私たちの活動  
は思想や価値観の違  
うもの同士が、入口の  
違う沢山のドアを開  
け、1歩ボランティアに  
足を踏み入れた時、あ  
の劣悪な環境を目の当  
たりにし、大切な歯を  
次々と失う現実を知  
り、4日間という同じ  
時間を過ごす中で心  
を一つにし、共に笑  
い、悩み、支えあつた  
後、出ていくたった  
一つの出口の存在こそ  
が最も大切に感じま  
す。



私は帰国日、飛行機を  
待つ空港で息子に尋  
ねました。「どうだつ  
た？」彼は答えまし  
た。「お父さん、誘つ  
てくれてありがとう。高  
校生になったらもう一  
度来たい。」

今回72名の若者たち  
と過ごし改めて思  
いました。たとえ彼ら  
に様々な入口が存在  
しようと、大人が本  
気になり、社会が本  
気になり、親が本気  
ならば子供は決して  
出口を見失いません。  
今の日本の子供たち  
がも

がき苦しんでいるの  
は大人たちが「本気  
」になって彼らに正し  
い出口までの歩き方  
を教えられず、大人  
もそれを示すことが  
できないからでしょう。

私はこの活動に参加  
をした高校生たちに  
望みます。たとえど  
んな理由であっても、  
あの現実を見たとき  
に「何か」を感じそ  
れを実行する努力に  
勇気を持って欲しい  
。そしてこのハロア  
ルの活動を経験し、  
同じ出口から出て行  
ったならば物欲を満  
たすばかりではなく  
「人間の幸せの在り  
方」や「心の豊かさ  
を」考えられる大人  
になって欲しい。

帰国後私は息子に話  
しました。「フィリピ  
ンのスラムに存在す  
る悲しみは私たち日  
本の経験や感動のた  
めに在るのでない。大  
切なことはこの経験  
の先。これをどのよう  
に自分の人生に生か  
し、生活を改めどん  
な大人になるか。」

彼にどれだけの「響  
き」があつたかはわ  
かりませんが、皆さ  
んのおかげで、そし  
てフィリピンのスラ  
ムの人たちのおかげ  
で、彼の心の中に小  
さな「未来」という  
種を植えることがで  
きました。これかも  
一人の親として、そ  
して一人の人間とし  
てしっかりとその成  
長を見守っていき、  
いつか皆さんに恩返  
しができるように頑  
張っていきましょう  
と思います。



今年も皆さんのおか  
げで本当に素晴らしい  
活動ができました。私  
の留守中皆さんには  
大変ご迷惑をおかけ  
しました。そして、い  
つもこの活動を心  
に留め物資や募金  
をご協力してくださ  
る皆さん、本当にあ  
りがとうございます。

これからも皆さんの  
健康とスラムの子  
供たちの笑顔のため  
に命を懸けて頑張  
っていきたくと思  
いますのでどうか  
協力よろしくお願  
いいたします。

